

令和6年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月25日(日)⑥

担当部局・担当課名: 教育委員会教育みらい室

事業名	高等学校生徒海外派遣事業	評価結果	行政の関与不要
-----	--------------	------	---------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

※事業費に充当している基金の残高が今後なくなる見込みであり、その後の事業のあり方を中心に議論がなされた。

【委員の意見】

- ・北日本放送からの基金でこれだけ長期の取組みが続いたことは素晴らしい。富山県として何らかの支援はすべきである。この事業は一定の目的を達成できたので、本事業のように長期の取組みとなるよう新しい枠組みをしっかりと検討したほうが良い。
- ・この事業の内容は確かに素晴らしいものである。社会の発展に貢献するグローバル人材の育成は、県としては絶対に行うべきだと思うが、基金がなくなってしまうのであればやり方を変えるしかない。
- ・今の手法を続けるのであれば、企業からの寄付を募って実施してはどうか。
- ・国の「トビタテ！留学JAPAN」制度の啓発や、同制度への応募に対する伴走支援、面接にかかる交通費の補助などを行う事業に改めても良いのではないか。

【県民評価者の意見】

- ・お金のある家庭であれば留学もできるが、そうではない家庭には負担が大きい。この事業はすごくありがたい取組みなので、留学させたいという親の気持ちに添って、ぜひ継続できる方法を探してほしいと思う。
- ・高校の制度などを使って、自費で留学している人も結構いる。留学したいという強い意志を持っている人が、お金を負担して行けば良いのではないか。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 18

評価区分 (考え方)	行政の関与不要 (県としての海外派遣はとりやめ)	役割分担見直し	抜本的改善 (例: 派遣数を減らして継続、企業から寄付を募って継続)	一部改善 (同左)	現行どおり・拡充
		10	1	1	2
県民評価者の主なコメント	【行政の関与不要】 ・青少年の育成の観点から良い取組みであるが、オンラインなど代替を考えてもよいのではないか。 ・グローバル人材育成は大事。やり方を変えて改善する必要がある。 ・海外派遣はとてもよい体験ではあるが、今は海外旅行も一般的になっている。 ・いくつかの都道府県と合同で資金調達(クラウドファンディング等)を行い、参加人数も絞ればよい。その上で仮にその枠から漏れた場合でも、費用を負担すれば参加できるという方法にしてはどうか。 ・できるなら続けてほしいが、今の形で継続していくのは困難ではないか。				
	【現行どおり・拡充】 ・参加ハードルの低さ、県がサポートしてくれるという心強さがあり、とても意味がある事業だと思う。ただ、財源がないから規模を削って実施するのもよくない。国や各学校の取組みを活かしたり、企業に呼びかけたりするのもありだと思う。 ・予算を増やして魅力ある派遣先にしてほしい。 【一部改善】 ・教育委員会が同伴するので安心感があるし、教育関係者のモチベーションにもつながっているのではないか。財源がないのでやり方を変える必要はあるが、県のサポートは必要だと思う。 【役割分担見直し】 ・国が実施すべき。国の留学制度は準備が大変だというが、それは当然のことではないか。そのくらいの気持ちが必要だと感じる。 【抜本的改善】 ・生徒にはこの素晴らしい事業のような体験をしてほしい。グローバル人材の育成に賛同する企業から協力を募り、参加した生徒が(報告会など)何らかの形で支援企業に関わるという循環システムを作って、事業を続けられないか。				

【参考】委員による評価

委員総数 4

評価区分	行政の関与不要	役割分担見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり・拡充
		2	0	2	0

事業名	高等学校生徒海外派遣事業	評価結果	行政の関与不要
-----	--------------	------	---------

【県の対応】

今後の対応方針	廃止	令和7年度の実施をもって事業廃止			
	○令和7年度の派遣をもって事業を廃止 ○県立学校においては、これまで、地域課題解決をテーマとした探究学習を行ってきたが、 今後は、本事業の理念や手法を継承し、各高校が行う海外大学等での課題研究発表等の 充実に努め、地域の課題等をグローバルな視点で捉え、その解決策を追究できる グローバルリーダーの育成に取り組む。				
令和7年度当初予算での対応	R7当初予算(要求額)	26,842(千円)	R6当初予算	26,670(千円)	増減額 +172(千円)
	増減理由	最終回の派遣を予定しているため。			

当初予算編成プロセスの見える化

令和7年度当初予算	要求状況	要求額	26,842(千円)	前年度予算額	26,670(千円)	
		事業の目的	高校生等20名を海外に派遣し、生徒間交流などにより異文化への理解を深め、世界とのつながりの中で、未来の郷土を支え、社会の発展に貢献するグローバル人材の育成を図る。			
		事業内容	①県内高等学校生徒等を海外に派遣 ②事前・事後研修の実施 ③推進協議会等の実施 ④団員のしおり、報告書等の作成			
		積算内訳	①25,938千円、②348千円、③124千円、④432千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、事業を廃止するとともに、グローバル人材の育成を図るため、県立高校が行う探究型・課題解決型学習の取組みを進めるなどの見直しが行われている。				
	最終的な予算案	予算額	26,842(千円)			
要求時点からの変更点		変更なし				